

[リフォーム産業新聞] 2023年12月18日掲載 (会社：リフォーム産業新聞株式会社)

(1) 2023. 12. 18

リフォーム産業新聞

〈平成元年9月8日第3種郵便物認可〉

第1581号

2023年(令和5年)

12月18日
No.1581

毎週月曜日発行(第5週は除く)
発行人:加賀光次郎
年間購読料 22,000円(税込)

リフォーム産業新聞

The Japan Journal of Remodeling

発行所: (株)リフォーム産業新聞社
亀岡大田取材班グループ
本社: 104-0061
東京都中央区銀座8-12-15
全国燃料会館ビル7F
TEL:03(6260)4824 FAX:03(6260)6945
暮らしをよくする、専門メディア



▲「サンフランシスコ」をテーマにしたショールーム

不動産事業を手掛ける三春情報センター(神奈川県横浜市)は、大型リフォームを強化中だ。今年3月の決算では前期比24%増の約20億円を達成し、今期も更なる強化

三春情報センター

買取再販物件をショールームに

大型リフォームの営業を強化

を図っている。グループマネージャーの北田哲也氏は「成長の要因は大型案件が増えたこと、単価が上がったこと」と語る。500万円以上の案件が60件を超え、中には1500万円や5000万円以上といった案件もあった。大型が取りやすくなったのは、買取再販事業でショールーム化した物件を増やしたからだ。「(リフォームを担当し



執行役員
岡本恭輔氏

ている)建築事業部と不動産事業部がうまく連携できて、年に1件程度だったショールーム化を4件できた。施工事例を案内した方が、スタッフもお客さんも盛り上がりが出て、結果70〜80%くらいの契約率で、いつもの倍くらいになった」と



グループマネージャー
北田哲也氏

理由は不動産が高くなっているから。「700万円以上の大型案件が前期は月6本だとすると、今期は3・5本くらい。不動産を新しく買えない分、一般のお客様からの

執行役員の岡本恭輔氏。今期については「現時点ではリフォームの単価が前期よりさらに上がっている。逆に買取再販のリフォーム数や大型リフォームの件数は減少傾向」と岡本氏は話す。理由は不動産が高くなっているから。「700万円以上の大型案件が前期は月6本だとすると、今期は3・5本くらい。不動産を新しく買えない分、一般のお客様からの

ミックグループでは買取再生販売を行っております。

リノベーション済みの物件をショールーム化し、お客様に見ていただくことでより暮らしのイメージをつかんでいただき、お客様の好みのスタイルをご提案を行っています。

本件が、暮らしをよくする専門メディア「リフォーム産業新聞」に掲載されました。



ミックくん

リフォームが増えている(北田氏)今後に関して、北田氏は「買取再販事業の目標は今年も来年もあまり変わらない予定。しかし弊社の建築事業部は不動産事業部と密にやってきたので、もうひとつの一本の柱としてリフォームをやっていきけるようにしたい」と話す。今期は5店舗を新規でオープンしたが、来期も引き続き新店舗を出店する予定。また来期は社内デザインコンペによる提案力向上や、他社の不動産会社に向けたB to Bリフォーム受注の拡大を目指す方針だ。